

麻生区区民会議 第9回環境・緑化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成23年10月14日（金）午後2時00分～4時30分
- 2 開催場所 麻生区役所4階第3会議室
- 3 出席者 [委員]
天野委員、大高委員、勝田委員、東川委員、福田委員
[事務局]
安生企画課長、阿部企画課担当係長、飯島
- 4 傍聴者 1人
- 5 議事

(1) グリーンアップ・里山ボランティアについて

【決定事項】

- ・栗木緑地は道路公園センターにより下草刈り等が行われていたため、今回は月読神社のみとし、栗木緑地での実施は見送る。
- ・原則として雨天は中止とする。実施日の前日に決行の可否を判断する。
- ・チラシに月読神社の概略地図、駅からの所要時間、バスの時刻表を追加する。メールで調整しながらチラシを作成し、次回の部会では完成物を提示する。

【主な意見】

- ・（事務局から）栗木緑地で実施しないことを町内会へ説明した。
- ・（事務局から）インストラクターは当日早朝に出発する恐れがあるため、前日までに決行の可否を判断する必要がある。
- ・12月は小雨でも寒いので決行するのは難しいかもしれない。
- ・駅からはバスで行く人が多いと思うので、駅集合はいらぬ。
- ・月読神社の地図をチラシに入れたほうがよい。詳細な道順は申込者へのお知らせに記載すればよい。
- ・持ち物は「お貸しします」より「こちらをご用意します。持ってくるのも可」の方がよい。
- ・当日の連絡手段がないので「当日は連絡が付きません。前日の17時までにお問い合わせください。」の文言をお知らせに入れた方がよい。
- ・保険は行事保険。ボランティア保険は継続した取組でないと入れない。
- ・申込者が少ない場合は11月26日の「花と緑の交流会」で麻生区の団体に声かけを行う。

(2) 循環型のまち・生ごみリサイクルについて

【決定事項】

- ・吉田氏への質問は情報提供する。

【主な意見】

- ・質問への回答が遅くなっている。個別に回答するかはアンケートの記載を確認する。

【次回のフォーラムに向けた反省点】

- ・3連休の時期に開催すると集客の面で良くないかもしれない。

- ・質疑応答の時間は必要だったと思う。
- ・講演時間や事例発表の順番などをもっと検討しておくべきだった。
- ・講師との事前打合せをもっと行うべきだった。吉田氏にマイクを使ってもらった方がよかった。
- ・区民は開場時間より早く来ることを想定する必要があった。
- ・終了後に各委員が感想を言える時間があった方がよい。
- ・写真展の写真は会場に持ってきた方がよかった。

(3) 「生ごみ堆肥あげます・もらいます」モデル事業案について

【決定事項】

- ・減量推進課に詳細な事業案を示したうえで、どのような方法ならば法律や市の施策に抵触しないで実施できるか聞くための場を設けるよう調整する。

【主な意見】

- ・（事務局から）事業案を減量推進課に確認してもらった結果、1次生成物の移動に第三者が介入すると法律に抵触する恐れがあると言われた。また、持ってきた堆肥が受入可能なものか判断が難しいなど懸念材料がいくつかあり、このまま受けるのは難しいとのことであった。さらに、放射能が混入している可能性も今の時期は考えなければならぬ。
- ・行政は主体となってやりたくない感じが見受けられる。
- ・まずは区民会議が主体となって実施し、行政につないではどうか。実際にやってみないと上手くいくかは分からない。
- ・落葉が入ると放射能が危険な状況であるが、電動生ごみ処理機やダンボールコンポストなら大丈夫ではないか。
- ・ダンボールコンポストの完熟堆肥のみの回収は望んでいない。1次生成物であってもリサイクルできるものは市町村判断で第三者が介入できると聞いた。本当に法律に抵触するのか根拠を示して欲しい。
- ・減量推進課が電動生ごみ処理機の購入を助成しているので、この制度を利用した人に通知とかできないか。
- ・（事務局から）市政だより区版12月1日号は掲載記事が多く、本事業の記事を掲載することが難しい。

(4) その他

- ・「エコのまち麻生」啓発用パンフレットの配布状況を次回の部会で示して欲しい。
- ・地産地消の取組である「あさおスペシャルランチ」が休止しているが、今後はどうするのか。→現在、第2期区民会議委員の委員が農家に声をかけている。

(5) 今後のスケジュールについて

- ・次回の部会は10月28日の午後または11月4日の午前で調整する。